

後期日程入学試験問題 法律科目試験

(刑 法)

次の(設例)を読んで、Xの罪責について論じなさい(特別法違反の点を除く)。

(配点：100点)

(設例)

Xは、ある夜、妻であるA女と自動車でB商店に買い物に行き、B商店から少し離れた駐車場に自動車を入れようとしたところ、駐車場から出ようとしていたV運転の自動車と接触しそうになった。Xは、Vに注意を促す意味で長めにクラクションを鳴らしたところ、これに激高したVが、自動車を降りてXの自動車のドアを開けてAを引きずり出し、数メートル引きずって行き殴る蹴るの暴行に及んだ。Vは身長180センチメートル、体重80キログラムを超える屈強な若い男性であったのに対して、Xは身長160センチメートル、体重50キログラムであり、ひ弱で腕力にはまったく自信がなかった。また、付近に人影はなく、携帯電話を持っていなかったXは、助けを呼ぶこともできなかった。

Aは必死に逃げながらXに助けを求めた。この声を聞いて、Xは、Aを助けるためには、Vに自動車を衝突させて転倒させて、その間にAを自動車に乗せて逃げるしか方法がなく、Aが逃げている今ならVだけに衝突させて倒すことができるであろうと考え、やるなら今しかないと決断して、Vの方向に向けて自動車を発進させ、時速20キロメートルで約15メートル進んだところでVに衝突させた。その結果、Vは全治3週間を要する打撲傷を負った。

Xは、Aを乗せて逃げようと、自動車を降りたところ、Aが倒れているのを発見した。Xが逃げていたと思っていたAは、実際にはすぐにVに追いつかれて、Vに押し倒されて転倒し、Vの足元にいた。Xはこのことを認識していなかったため、Vに自動車を衝突させた際、Aにも衝突させ、その結果、Aに全治2か月間を要する骨折等の傷害を負わせた。